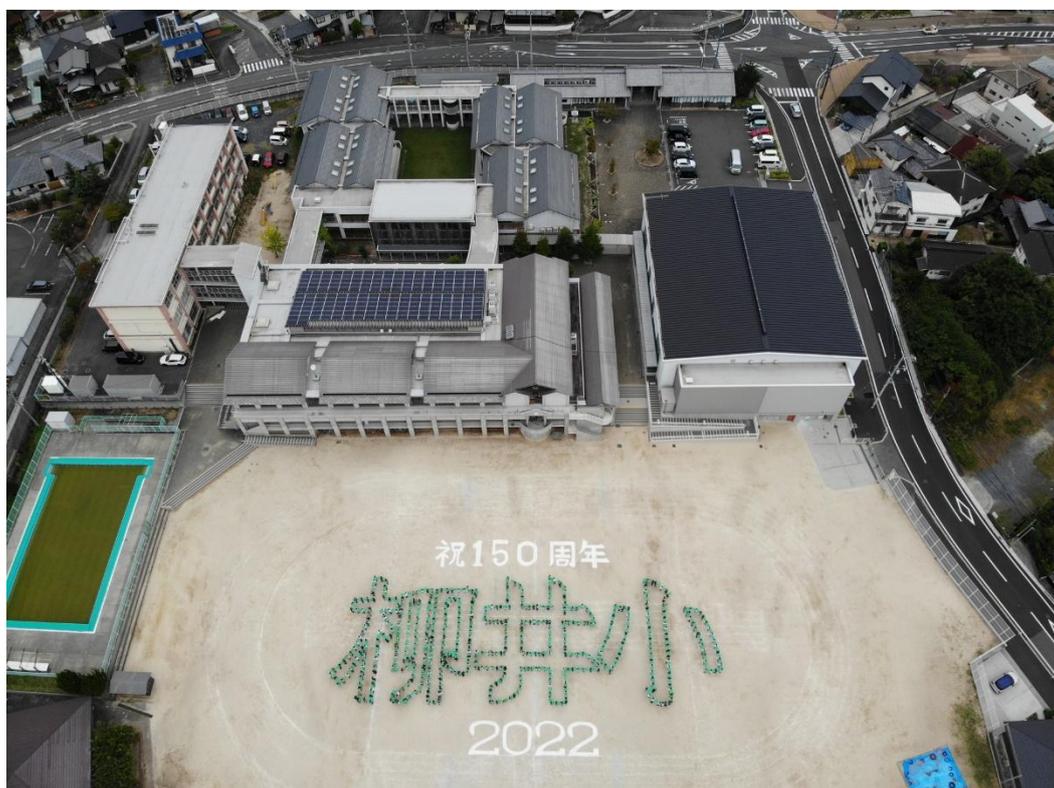


<令和7年度版>

危機管理マニュアル



柳井市立柳井小学校

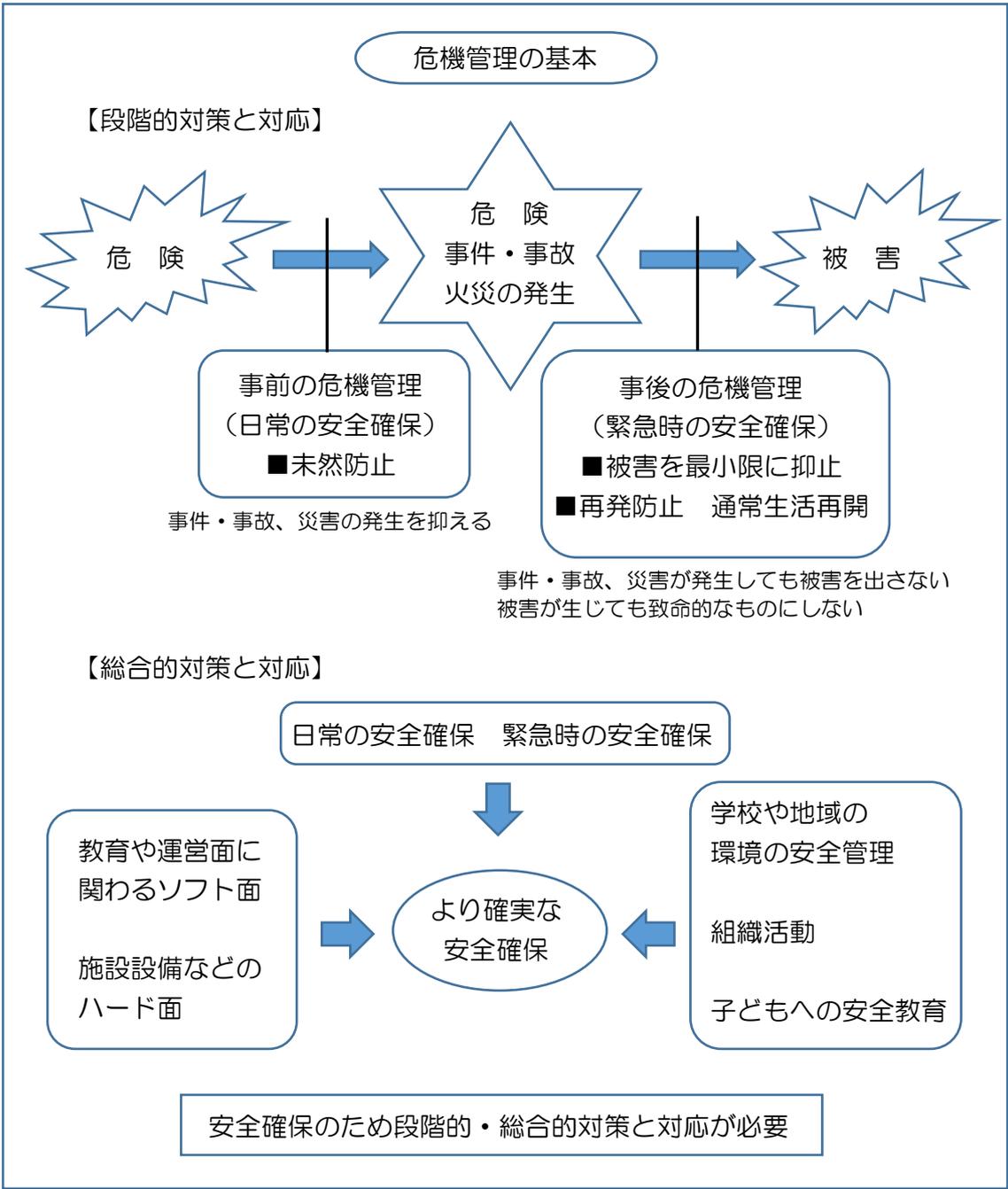
目次

| | | |
|-----|-------------------------|----|
| 1 | 学校における危機管理… | 2 |
| 2 | 情報伝達経路図… | 3 |
| 3-1 | <u>不審者侵入防止に関する日常管理…</u> | 4 |
| 3-2 | 不審者侵入による事故発生緊急対応マニュアル… | 5 |
| 4 | 地震災害発生時の行動マニュアル… | 6 |
| 5 | 校外学習等、校外での活動時の留意事項… | 10 |
| 6 | AEDの使い方… | 11 |
| 7 | 感染症・食中毒（疑い）事故発生時の措置… | 12 |
| 8 | 重大事故への対応… | 14 |
| 9 | 風水害・土砂災害発生時の対応… | 16 |
| 10 | 光化学オキシダント対応マニュアル… | 18 |
| 11 | けが等における緊急時対応マニュアル… | 20 |
| 12 | 熱中症への対応について… | 21 |
| 13 | アナフィラキシー症状への対応… | 23 |
| 14 | 弾道ミサイル落下時の行動について… | 25 |
| 15 | インターネット・情報機器の使用について… | 26 |
| 16 | 野生動物等の害獣対策のための対応フロー… | 27 |

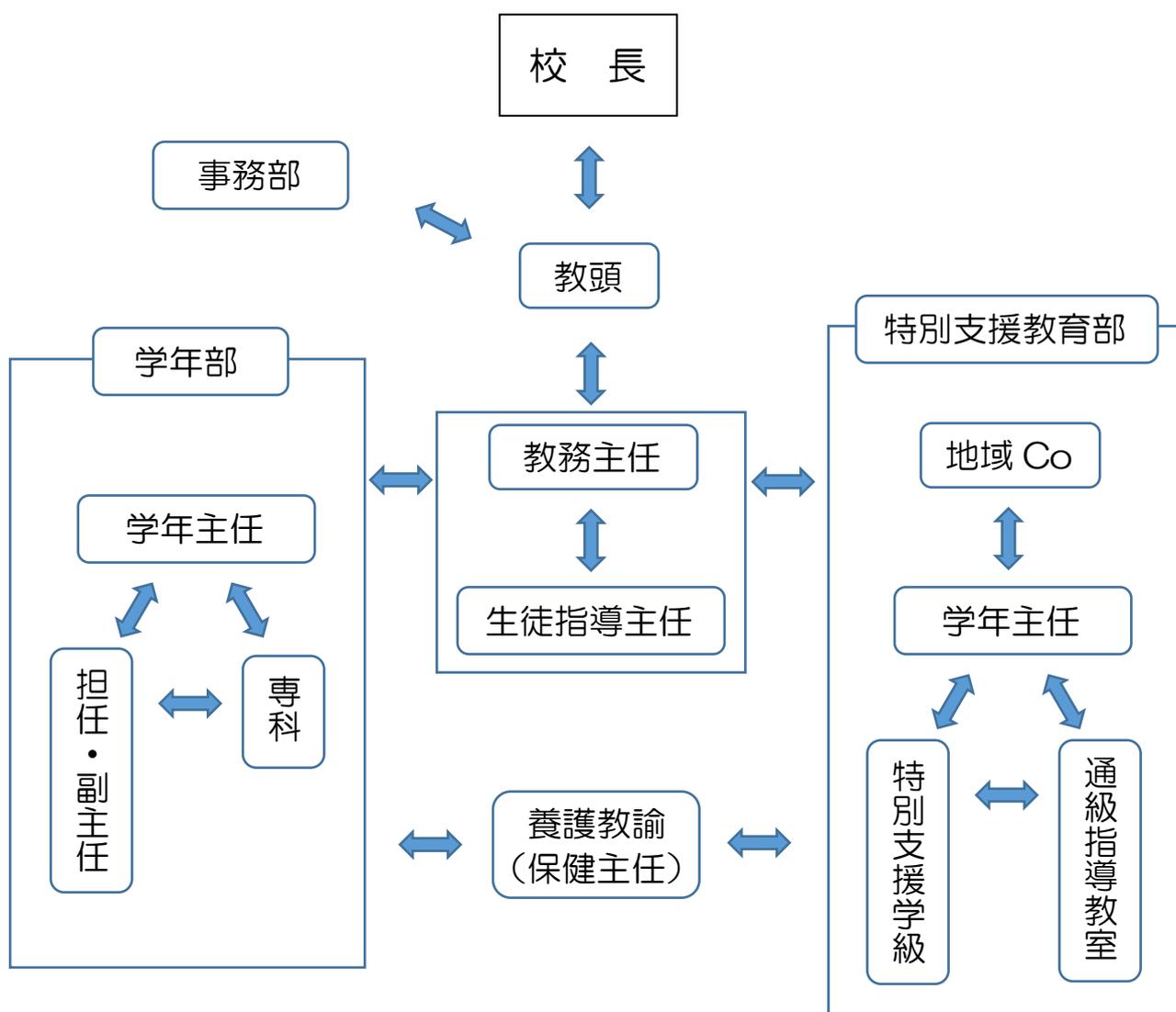
1 学校における危機管理

学 校
子どもが安心して学ぶことができる安全な場所

危機管理
人々の生命や心身等に危害をもたらす様々な危険を防止し、万一事件・事故、災害が発生した場合に、被害を最小限にするために適切かつ迅速に対処することをめざす



2 情報伝達経路図



3-1 不審者侵入防止に関する日常管理

柳井小学校

(1) 校門及び校舎入口の管理

通常授業日の校門管理は以下を基本とする。校長は、各学級担任を通じ、このことを児童及び保護者に周知するとともに、登下校時間の遵守を児童に徹底させる。

| 時 間 | 児童・教職員 | 来校者・保護者 |
|---|---|---|
| 登校時間 7:50 ~ 8:10 | ● 児童は正門及び運動場通用口から登下校する。 | ● 児童と同じ通用口から出入りし、来校時には必ず事務室に申し出る。 |
| 授業中 | ● 普通教室棟及び北校舎の児童入口を7:50に解錠する。 | ● 交流ラウンジ担当者(地域学校協働活動推進員)が在室の場合は、担当者に申し出るにより交流ラウンジ横の通用口を使用できる。 |
| 下校時間 曜日・学年により時間帯は異なる。(学校だより等を通じて家庭に事前通知) | ● 授業中は正門、運動場通用口、及び裏門を閉じることを原則とし、開門した者が責任をもって閉門する。 | |

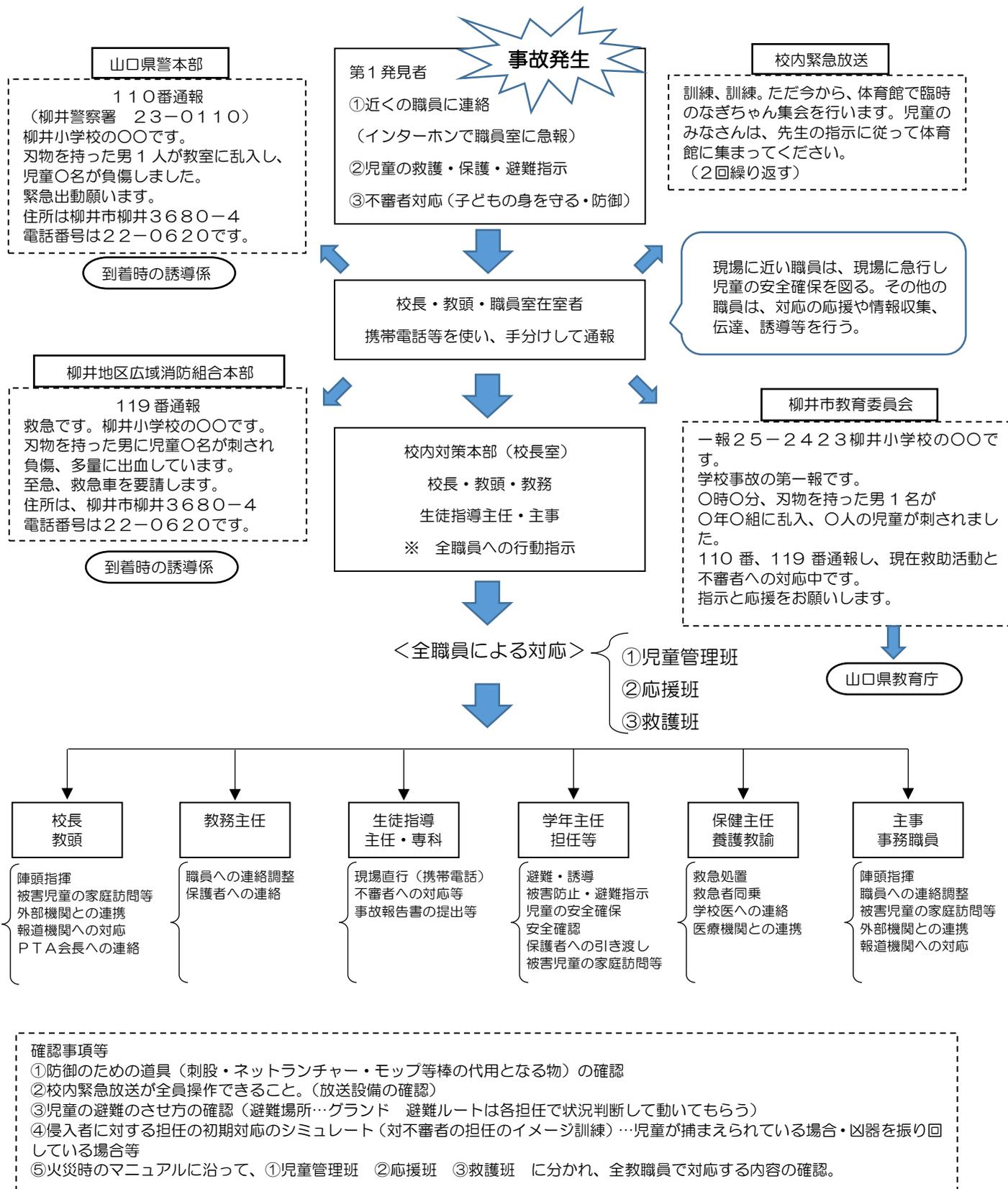
(2) 来校者の管理

校長は、全教職員への指示・周知を通じて、下記の来校者対策を徹底し、不審者侵入に万全の対策を取るよう努める。

- 来校者向けに、正門及び裏門付近に「来校者の方は事務室へお越しください」の案内を表示する。
- 来客の予定がある場合は、あらかじめ事務室にその旨を伝えて情報の共有に努めるとともに、来客への接遇に失礼がないよう心掛ける。
- コミュニティ・スクールである本校には、多くの地域住民や保護者、その他の関係者が来校される。教職員は、来校者を見かけたりすれ違ったりする際には、積極的に挨拶や声掛けを行い、学校・家庭・地域の円滑な連携・協働を推進するとともに、不審者侵入の未然防止を心掛ける。

3-2 不審者侵入による事故発生緊急対応マニュアル

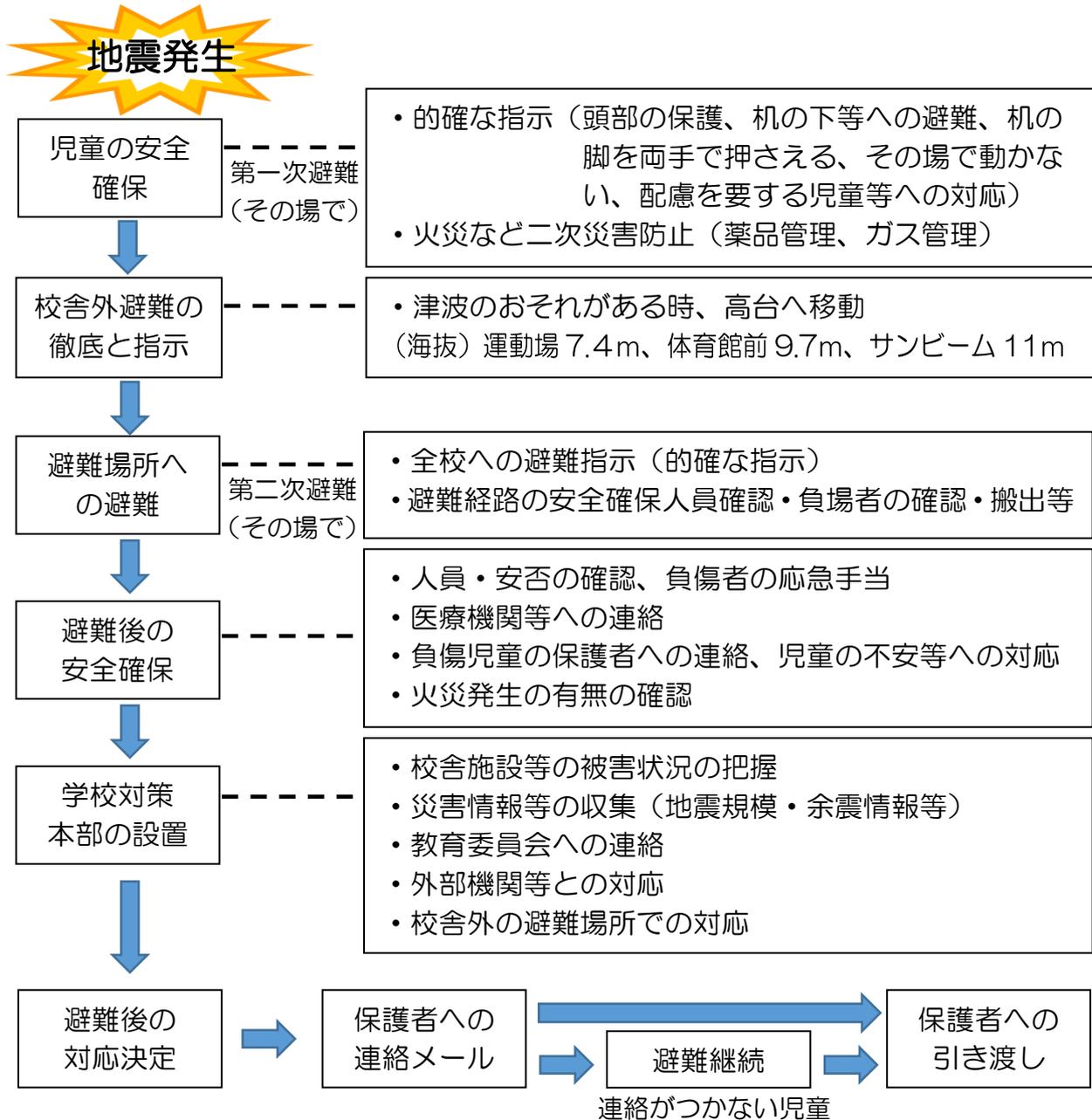
柳井小学校



4 地震災害発生時の行動マニュアル

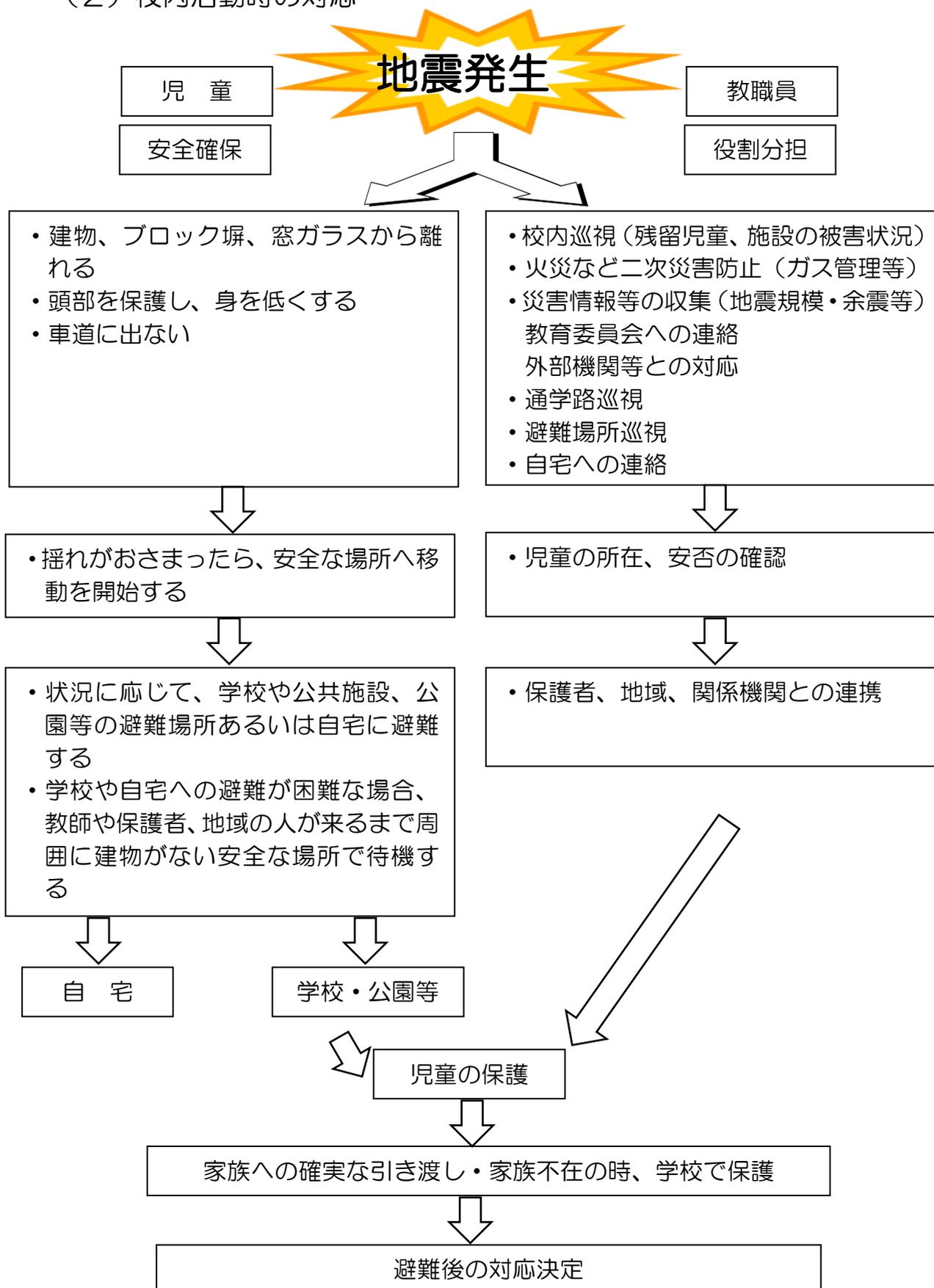
(1) 校内活動時の対応

地震は、突発的で直接体を感じるため、発生時には、児童の動揺は極めて大きく、室外への飛出しなど混乱状態を引き起こすことがある。したがって、まず教職員は、冷静さを失わずに確に指示を与え、混乱状態を沈静化させた上で、以下の手順に沿って迅速に対応する。



二次災害 (余震、津波、火災等) に備え、情報収集及び安全措置 (家庭科室、理科室における火災の始末等) を確実に行う。

(2) 校内活動時の対応



(3) 地震発生時の初動・初期対応の流れ



(4) 地震災害が発生した場合の対応例（教職員、児童の対応）

| 児童の安全確保（校舎内）●印は、教師の発言 | | |
|--|--|--|
| 状況（想定） | 教職員の指示等 | 児童生徒の行動 |
| <p>（震度5以上） 【初期微動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動揺からパニックが起こることもあるので教師は堂々と大声で指示をする。 <p>【主要動発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行困難な揺れが約1分間続く。 ・この間は机等を盾に備品の転倒や飛散する窓ガラスから身を守る。 <p>【主要動収束】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要動の収束後、余震発生前に、状況を確認し校庭へ避難する。 ・校舎内の避難経路は、ガラスの破片や倒壊した備品等が散乱し危険であるから、けがをしないよう注意する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・●「先生の言うことを聞きなさい」 ・●「机の下にもぐりなさい」 ・●「机の脚をしっかりとって」 ・落下、転倒物から身を守らせる。 ・火気の始末をする。 ・ドア、窓を開け避難口を確保する。 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急放送があればその指示に従わせる。 ・●「けがをした人はいませんか」 ・負傷者等の有無の確認と救護をする。 ・●「帽子をかぶりカバンで頭を保護しなさい」 ・●「〇〇君から順番に運動場へ出なさい」「押さない」「はしらない」「しゃべらない」「戻らない」「危険に近づかない」 ・できるだけ隣接する学級の教員と連絡し、児童の前後につく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指示に従い、各自の勝手な行動を禁ずる。 ・慌てて外に飛び出さない。 ・机の下等にもぐり、落下物から身を守る。 ・勝手な言動を慎む。 <ul style="list-style-type: none"> ・主要動の収束後、ただちに、かばんや帽子等で、頭部を保護する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示に従い、特に「押さない」「はしらない」「しゃべらない」を守る。 ・避難途中で教室等へ戻らない。 ・危険に近づかない。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の廊下・階段等で余震を感じたら、中央で伏せ、落下物から身を守る。 ・体育館にいるときは、落下物を避けて一次避難し、主要動収束後は校庭へ避難する。 ・校庭にいるときは、建物からの落下物を避けて避難する。 ・火気、化学薬品等を使用する特別教室等にあっては、二次災害防止の措置を行う。 ・プールを利用中の場合は、直ちにプールサイドに上り、その後安全な場所に避難する。 | | |

5 校外学習等、校外での活動時の留意事項

(1) 計画の作成

- ① 場所等の選定については、地理的な状況や交通機関等、計画を作成する段階で必ず下見を行い、危険箇所についてチェックする。
- ② 経路や活動場所において、携帯電話利用可能の有無、公衆電話の有無を確認する。また、救急病院及び警察署の住所や電話番号を確認し、必要に応じて事前連絡を行う。活動場所の名称と電話番号は、保護者への案内プリントやしおり等に明記する。

(2) 事前準備等

- ① 児童への事前指導
 - ア 児童に対して安全指導（交通安全について）と防犯指導（知らない人がついてくる、声をかけられた場合の対応等）を十分に行う。
 - イ 特に、防犯指導については、犯罪被害のおそれがある場合など、万一の際の対処のしかた（「助けを求める、逃げる、信頼できる大人に話す」など）についても指導する。
- ② 当日の対応
 - ア 緊急時は、学年主任が全体の指示を行い、それに従って担任は児童の安全を守る。
 - イ 万一の緊急事態に備えて、学校、保護者等にすぐ連絡できるよう、携帯電話、保護者の連絡先一覧（緊急時の連絡網）、救急病院の連絡先等を持参する。また、「笛」を忘れないようにする。

(3) 緊急事態発生時

- ① 直ちに、学校（0820-22-0620）、警察（110番）、救急（119番）、保護者に連絡する。
- ② 状況を把握し、他の児童の安全確保に十分留意する。

※ 他の学校行事・PTA行事についても、児童等の安全を十分考慮して、これに準じて対応する。

6 AEDの使い方

※ 意識がない、呼吸をしていない、脈がないときAEDを使った心配蘇生を行う。

OAED 設置場所

2 か所

「体育館入口」

「保健室前」



The diagram illustrates the four steps of AED usage. Step 1 shows the AED being placed on the left side of the patient. Step 2 shows the electrode pads being attached to the patient's chest. Step 3 shows the AED analyzing the heart rhythm while two people stand by the patient. Step 4 shows the defibrillation button being pressed.

1
傷病者の左側に置く

1.AEDの電極を入れる
AEDのふたを開け、電源ボタンを押します。(ふたを空けると自動的に電源が入る機種もあります。) 音声メッセージと本体に点滅するランプに従ってください。

2
電極パッドを貼る
傷病者の衣服を取り除き、胸部を裸にします。
電極パッドを、絵に示されている位置にしっかりと貼りつけ、ケーブルをAED本体の差込口に入れます。(ケーブルがあらかじめ接続されている機種もあります。)

3
心電図の解析をする
電極パッドを貼り付けると「傷病者から離れるように！」との音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。
音声メッセージが出たら、「みんな、離れて！」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認します。

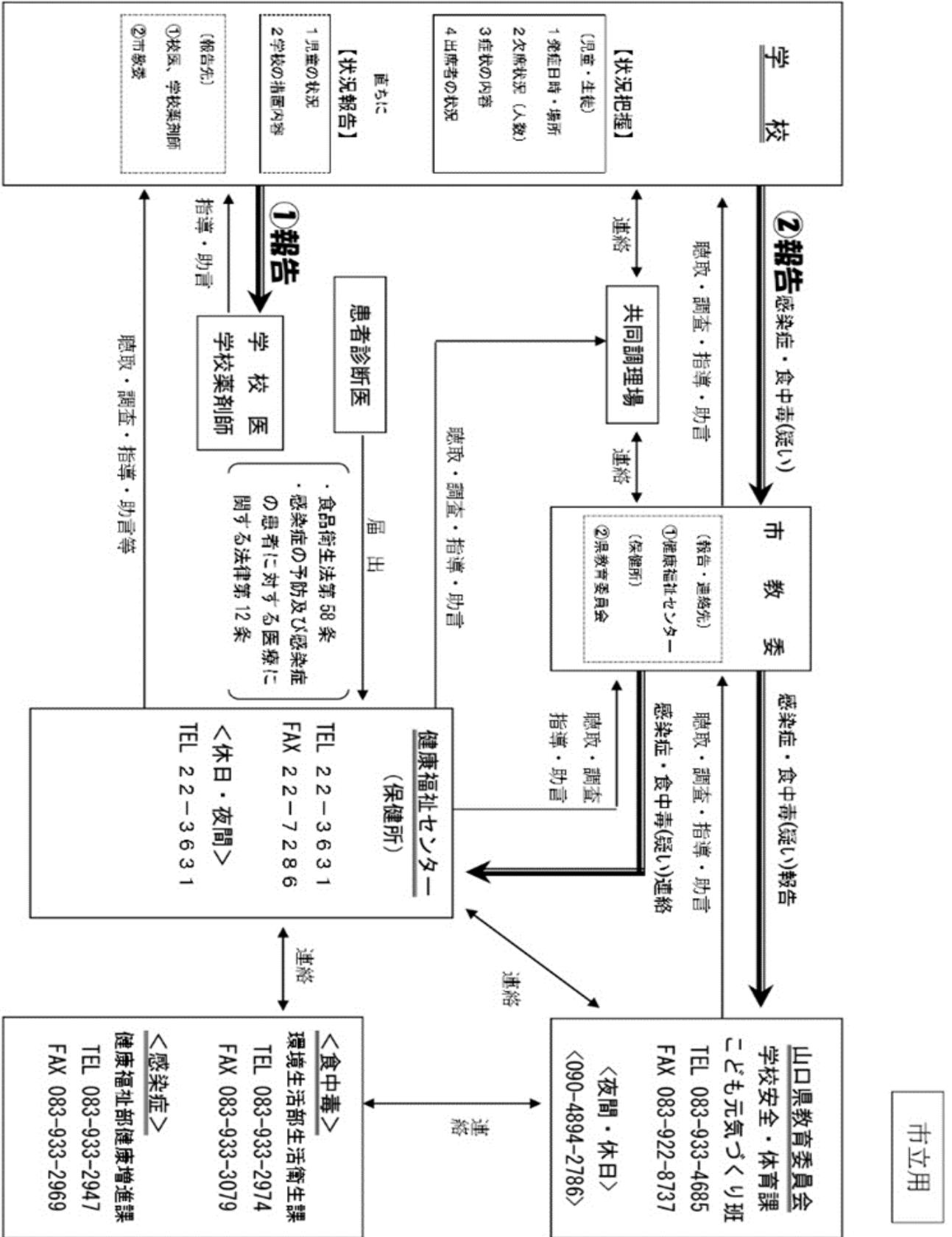
4
除細動を行なう
AEDが除細動を加える必要があると判断すると、「電気ショックが必要です。」などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まります。充電には数秒かかります。
充電が完了すると、「除細動ボタン(ショックボタン)を押してください。」などの音声メッセージや、除細動ボタンの点滅、充電完了の連続音が出ます。
充電が完了したら、再び、「みんな、離れて！」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認してから、除細動ボタン(ショックボタン)を押します。

バッド貼付け位置

解析中は傷病者に触れない

誰も傷病者に触れない事を確認し、ショックボタンを押す

7 感染症・食中毒(疑い)事故発生時の措置



○ 感染症・食中毒(疑い)事故発生時の報告様式

[学校における事件・事故等発生時の報告について¥03_（様式1）ア](#)

[アレルギー疾患緊急時対応報告書.docx](#)

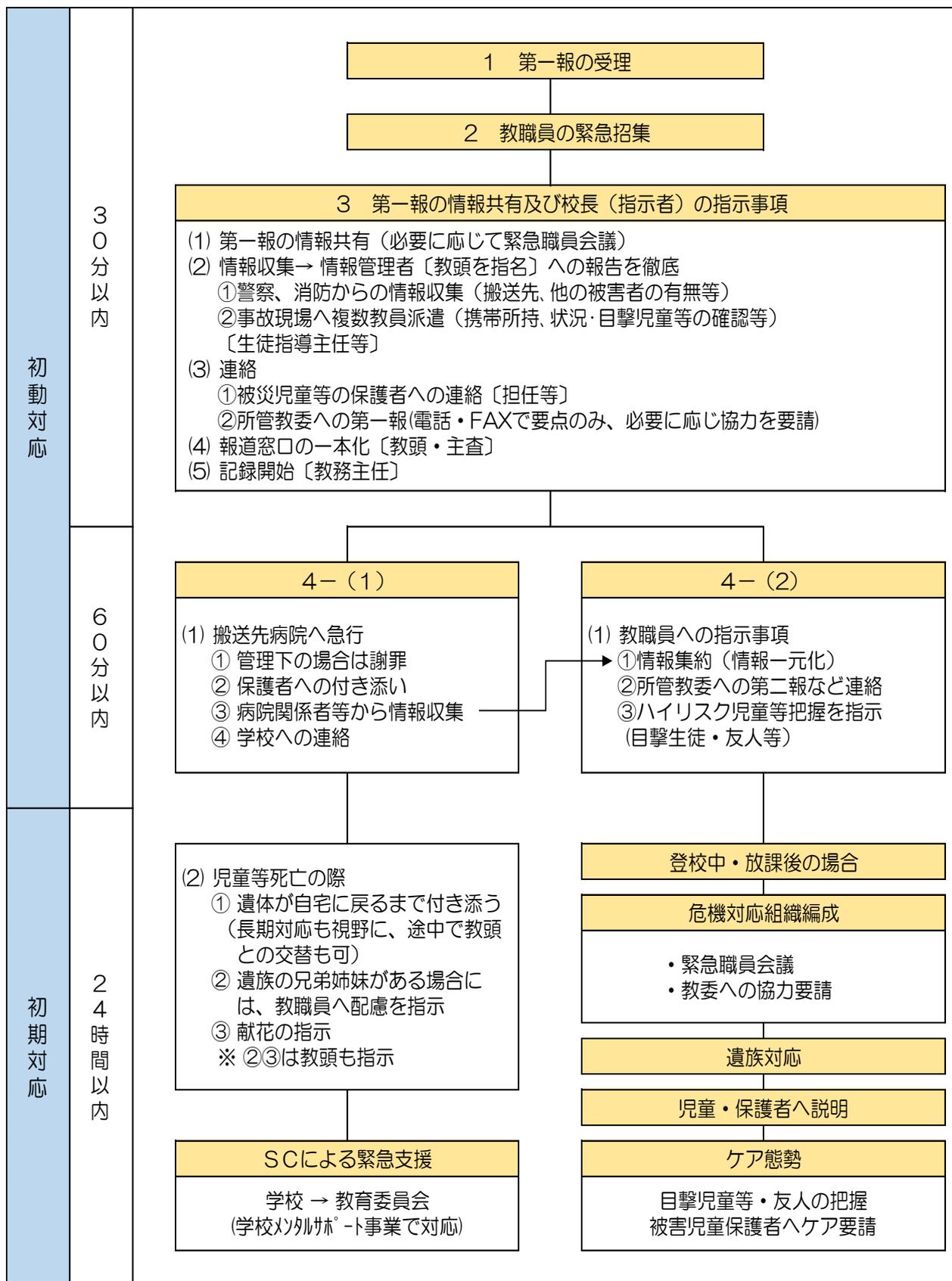
[学校における事件・事故等発生時の報告について¥04_（様式2）ア](#)

[アレルギー疾患ヒヤリハット報告書.docx](#)

[学校における事件・事故等発生時の報告について¥04_（様式2）ア](#)

[アレルギー疾患ヒヤリハット報告書.docx](#)

8 重大事故への対応



事故災害等が発生した場合の情報把握メモ用紙

※必ず下記の情報を確認すること。記入者()

○情報提供者() 電話()

| | | | | | |
|------------------|--|---|-----------|----|----|
| 発生日時 (いつ) | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border-bottom: 1px solid black;">月</td> <td style="width: 25%; border-bottom: 1px solid black;">日</td> <td style="width: 25%; border-bottom: 1px solid black;">時</td> <td style="width: 25%; border-bottom: 1px solid black;">分頃</td> </tr> </table> | 月 | 日 | 時 | 分頃 |
| 月 | 日 | 時 | 分頃 | | |
| 氏名 (誰が) | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border-bottom: 1px solid black;">年</td> <td style="width: 70%; border-bottom: 1px solid black;">組 (男・女)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px solid black;">名前</td> </tr> </table> | 年 | 組 (男・女) | 名前 | |
| 年 | 組 (男・女) | | | | |
| 名前 | | | | | |
| 場 所 (どこで) | | | | | |
| 事故等の内容 (何をした) | | | | | |
| 現在の状況 (どうなった) | | | | | |
| その他の状況 | | | | | |

- 生徒指導主任又は教務、教頭又は校長への連絡
- 担任への連絡
- 家庭への連絡
- 教育委員会、関係機関への連絡 (教頭)

事故報告様式

[学校における事件・事故等発生時の報告について¥02_【様式1】事件・事故速報.docx](#)

9 風水害、土砂災害発生時の対応

1 警報が発令されている場合

(1) 登校前に風水害・土砂災害が発生、暴風警報・大雨警報が発令されている場合、管理職で対応を協議・決定し、市教委に確認をする。

- ① 自宅待機の決定をしたら、柳井小安心メール等で知らせる。
- ② 正午を過ぎてからも状況が変わらず、自宅待機が継続している場合、その日は休校とする。

※ ①で連絡する前に、安心メールで、あらかじめ今後の対応について協議している旨の連絡をし、対応が確定した時点で改めて連絡をする。

(2) 登校後、避難判断水位（特別警戒水位）等の通知があった場合、あるいは通学路の冠水等を確認した場合

<待機・下校>

保護者の迎えが望ましいが、困難な場合は、校長の判断で待機や安全対策をとった下校を行う。

- ① 情報収集、情報提供者への確認
- ② 職員現場確認
- ③ 対策会議（通学路の変更、教員引率）

(3) 気象条件の把握で、事前に対応できる場合は、保護者へ文書等で連絡しておく。

2 警報が解除された場合

(1) 正午前に警報が解除され、安全な状況が確認された場合は、登校させる。ただし、冠水しやすく注意を要する場所は教職員が目視をして必要な安全策をとる。

協議後、登校を決定した時点で安心メールを送付する。

(2) 正午を過ぎた時点で状況が変わらない場合、その日は休校とする。

※ 柳井小安心メール等で連絡

3 避難場所（体育館など）について

※ 地域住民への対応は、校長・教頭が中心となり、市とタイアップして行う。

山口県防災班・・・電話 083-933-2367

柳井市総務課・・・電話 0820-22-2111（内線 431）

(保護者宛文書例)

令和〇年(20XX年)〇月〇日

保護者の皆様へ

柳井市立柳井小学校

校長 ○ ○ ○ ○

台風〇号接近における安全な登下校について

秋冷の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、ご存知のとおり、台風〇号が接近しています。〇日〇時現在の気象庁の台風情報によると、台風〇号は、〇〇岬南東〇km沖に位置し、時速〇kmで近づいており、〇日〇時頃、山口県に最接近すると予報されています。

つきましては、児童の安全確保のため、明日〇日(〇)の登校時刻を9時としますので、ご理解・ご協力をお願いします。

また、今後の気象状況によっては、下記のとおりに対応・措置を講じる場合もありますので、併せてお知らせします。

記

【登校について】

- (1) 通学路が冠水した場合(冠水しそうな場合も含む)は、通学路の変更や学校まで送っていただくなど、各ご家庭で、安全な登校についてご配慮願います。
- (2) 明日の朝の気象状況等によって、全校的に自宅待機(登校時刻の再変更)又は休校等を実施する場合は、朝6時30分から柳井小安心メールによりお知らせします。

【下校について】

- (1) 登校後、通学路が冠水している場合があります。教職員が、現地に行き安全確認を行った上で、教職員が引率したり通学路を変更したりする等の措置を講じて、安全な下校に配慮します。
- (2) 気象状況等により、早めに集団下校したり学校に待機したりする場合があります。その場合は、柳井小安心メールにてお知らせします。お子様の安全確保のため、保護者の方によるお迎え等のご協力をお願いすることがあるかもしれません。ご家庭でも、暴風雨等が予想される日の朝には、早めの集団下校等が実施された場合の対応について、お子様としっかり話し合っておいてください。
- (3) 児童クラブや柳井西福祉センターは、学校が緊急に早く帰すことを決定した場合、同等の対応を取り、閉鎖するとのことです。

【その他】

- (1) 柳井小安心メールで緊急時の連絡を配信します。
- (2) 暴風雨時の登下校には、次の点について、ご家庭でもご指導をお願いします。
 - ・ 河川や側溝の増水、土砂崩れ等の危険が考えられるので、危ない場所に近づかないこと
 - ・ 状況によっては、安全帽子を着用せず、傘ではなく雨合羽を使用すること
 - ・ 車に注意すること
- (3) 台風が接近している時は、外へ出ないようにご家庭でもご指導をお願いします。
- (4) 通学路において、増水や崖崩等の危険箇所が生じた場合には、学校までご連絡ください。

① 光化学オキシダント被害の未然防止

| 日常での注意事項 | ルート | 発令の種類 |
|--|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 気象観察（天候・風向・気温の状況、視程障害の有無）を行う。 2 児童・生徒の健康管理に十分留意し、特に健康上注意を要する児童・生徒を個別に把握しておく。 3 各教室内にカーテンを設備する。 4 被害者救護のための対策を講じる。 <ol style="list-style-type: none"> ①保健室以外の予備室準備（被害者が多数出た場合） ②救急用具などの整備 ③情報の収集・伝達経路、保護者や関係機関への連絡方法整備 ④被害発生時の措置と、役割分担を確認 | <p>山口県環境保健センター ↓ 学校安全・体育課情報 / 市町環境部局注意報・警報 ↓ FAX ※平日のみ 市町教育委員会 ↓ 学校</p> | <p>情報 オキシダント濃度 0.10ppm以上0.12ppm未満</p> <p>注意報 オキシダント濃度 0.12ppm以上0.40ppm未満</p> <p>警報 オキシダント濃度 0.40ppm以上</p> <p>特別情報 オキシダント濃度 0.12ppm未満で被害発生</p> <p>広域発令 他測定局データ等により広域的な汚染が予想される場合</p> |
| 『情報』 | 『注意報』以上へ移行する可能性を知らせるための予防発令であり、教職員へ知らせたり、児童・生徒の健康状態や活動状況を確認するなど、いつ『注意報』に変更となっても十分対応できるように努める。 | |

② 発令時・被害発生時の対応

| | 一般的留意事項 | 屋外 | 屋内 |
|------------|--|---|---|
| 注意報 | <ol style="list-style-type: none"> 1 直ちに全児童・生徒及び教職員に周知させる。 2 学校医等に通報して協力の体制をとる。 3 特に、児童・生徒の健康観察を密にし、異状者の把握に努める。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 適宜、指導計画を変えるなどして、努めて屋外活動は避ける。 2 放課後は下校させるが、寄り道はしないよう指導する。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 なるべく戸外に面した窓を閉める。 2 教室内の状況により、やむを得ず戸外に面した窓を開けるときは、カーテンを閉める。 |
| 警報 | <ol style="list-style-type: none"> 1 注意報に同じ。 2 発令中で解除されない場合でも、異状者が多数出た場合を除き、放課後は直ちに下校させる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 屋外活動を取りやめ、全員を屋内に退避させる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 注意報に準ずる。 |

★ **被害者の緊急措置**

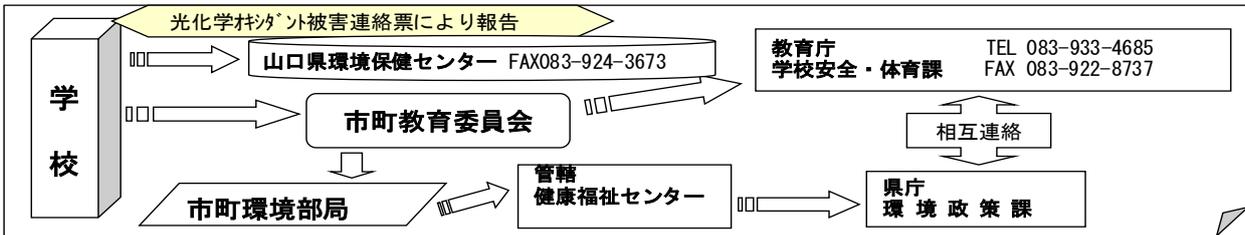
光化学オキシダントによると思われる被害者の訴えがあったときは、直ちに屋外活動を取りやめ、児童・生徒を屋内に退避させる。
なお、状況によっては、学校医等の協力を得て適切な措置をとる。

ア 軽症者
眼やのどの痛みを訴える者に対して、すみやかに水道水で洗眼及びうがいをさせる。

イ 重症者
呼吸困難、けいれん、意識障害等の重い症状があるときは、軽症者と区別して別室で休養させ、医師の診断を受けさせる。

『特別情報』
オキシダント濃度が『情報』レベル以下であっても、被害が発生した場合に発令されるものであり、『注意報』に準じた対応が必要となる。

③ 被害発生時の報告



様式

光化学オキシダント被害連絡票

| | |
|-----|---------------------------------|
| 連絡日 | 令和 年 月 日 () |
| 届出者 | (柳井小) 学校・() 教育委員会 職名： 氏名： |

| | | | |
|---|------------------------------|----|----|
| 1 発生日時 | 年 月 日 時 分 ~ 時 分 | | |
| 2 発生場所 (市町教委は学校・園名記入) | 学校・園名： 運動場、教室、体育館、その他 () | | |
| 3 発生時の活動状況 | 体育授業、部活動、遊戯、その他 () | | |
| 4 症状 | 被害者概数 人 | | |
| | (1) 目がちかちかする | 人 | |
| | (2) 涙が出る | 人 | |
| | (3) 咳が出る | 人 | |
| | (4) 喉がいがらっぽい | 人 | |
| | (5) 吐き気がする | 人 | |
| | (6) 医師の治療を受けた | 人 | |
| | (7) 入院した | 人 | |
| 5 重症者名とその症状 | | | |
| 氏名 | 年齢(学年) | 性別 | 症状 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 6 措置 | | | |
| 7 発生時の気象状況等 | | | |
| (1) 天候 (晴、雲、雨) (2) 風 (強、弱、微、無風) | | | |
| (3) 気温 (℃) (4) 湿度 (%) | | | |
| (5) 視程 | | | |
| 大気と濁りぐあいを表す尺度の一種で、昼間、空を背景にした 黒ずんだ目標がそれを認められる最大距離 | | | |
| (はっきりしている。 かすんでいる。 非常に見通しが悪い。) | | | |

11 けが等における緊急時対応マニュアル

学校管理下（家を出てから帰宅するまで）では、保護者は学校に対して信頼して子どもを預けているので、その信頼に応えられるよう責任ある対応（家庭連絡や家庭訪問など）をする。
特に、首から上のけがについては、原則、医療につなぐ。

| 手 順 | 対 応 | 留 意 点 |
|--------------------|---|---|
| 1 保護者への連絡・説明 | ①「いつ、どこで、どんな活動中、どうした」を伝える。 ×「大丈夫と思うのですが。」 ×「 <u>たぶん</u> 骨が折れていると思うのですが。」 ②相手があるけがの場合 <ul style="list-style-type: none"> ・状況が十分把握できるまでは、保護者に相手の名前を告げない。 「一緒にいた子どもたちからよく聞いて後ほどお知らせしますが、まずは念のために病院で診てもらった方がよいと思ひましてお電話しました。」 ・周囲の児童の言動にも十分配慮する。 | 状況の把握 応急処置 ★管理職・生徒指導へ報告 【救急車要請】 （原則：管理職） ・学校名・要請者名 ・住所（目標物） ・要請理由と人数 ・発生場所 など |
| 2 病院の決定 | ①必ず保護者に病院を決めてもらう。 緊急時連絡カード記入あり「〇〇病院でよろしいですか。」 // 記入なし「どちらの病院がよろしいでしょうか。」 ②病院決定 ③保護者に連絡がとれなかった場合 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時連絡カードに記入された病院へ引率する。 ・記入がない場合は受診後家庭連絡をし、保護者に十分説明する。 | 緊急時連絡カードで確認 【病院へ連絡】 ・学校名 ・学年氏名・性別 ・けがの様子 ・保護者来院の可能性 |
| 3 病院への引率 | ① 保護者が病院または学校へ来られる場合 「マイナンバーカード（保険証）をご持参いただけますか。」 ②①が不可能な場合 →教師（養護教諭、学級担任など）がタクシーで引率する。 ・タクシーチケットは職員室養護教諭机横の白いポーチ内 ③保護者が病院へ来られない場合 「病院で診てもらった後、手当ての様子についてお電話でお知らせします。」「できるだけ今日中に病院へ行ってください。」（保険証の提出、支払い等） ④本人や保護者、周囲の児童の動揺を少なくするように、傷口周辺の適切な処置を行う。（例：ガーゼ、タオル等） | 【病院への持参物】 ・緊急連絡カード ・タクシーチケット ・携帯電話 ・電話代・救急靴 ★事務室へ連絡 ・タクシー要請の件 ・学年氏名・性別 ・病院名 |
| 4 日本スポーツ振興センターの手続き | ①支払いの金額によって給付の条件を満たさないこともある。 ×「けがの治療費は出ます。」 ②登下校中や保護者の引率で受診した場合もあるので、朝の健康観察や連絡帳、子どもの会話などに注意する。 | 申請手続きは養護教諭 分かり次第、誠意をもって対応する。 |
| 5 事後の対応 | ①傷が癒えるまで、体調が回復するまで次のことに配慮する。 ＊登下校の方法、掃除場所、体育の参加 ＊エレベーター、多目的トイレの使用など ②再発防止のための指導を徹底する。 | ★管理職・生徒指導へ報告・記録の整理 【市教委へタクシーチケット使用の報告】 ・病院名 ・片道か往復か |

1 2 熱中症への対応について

1 熱中症対策についての共通理解事項

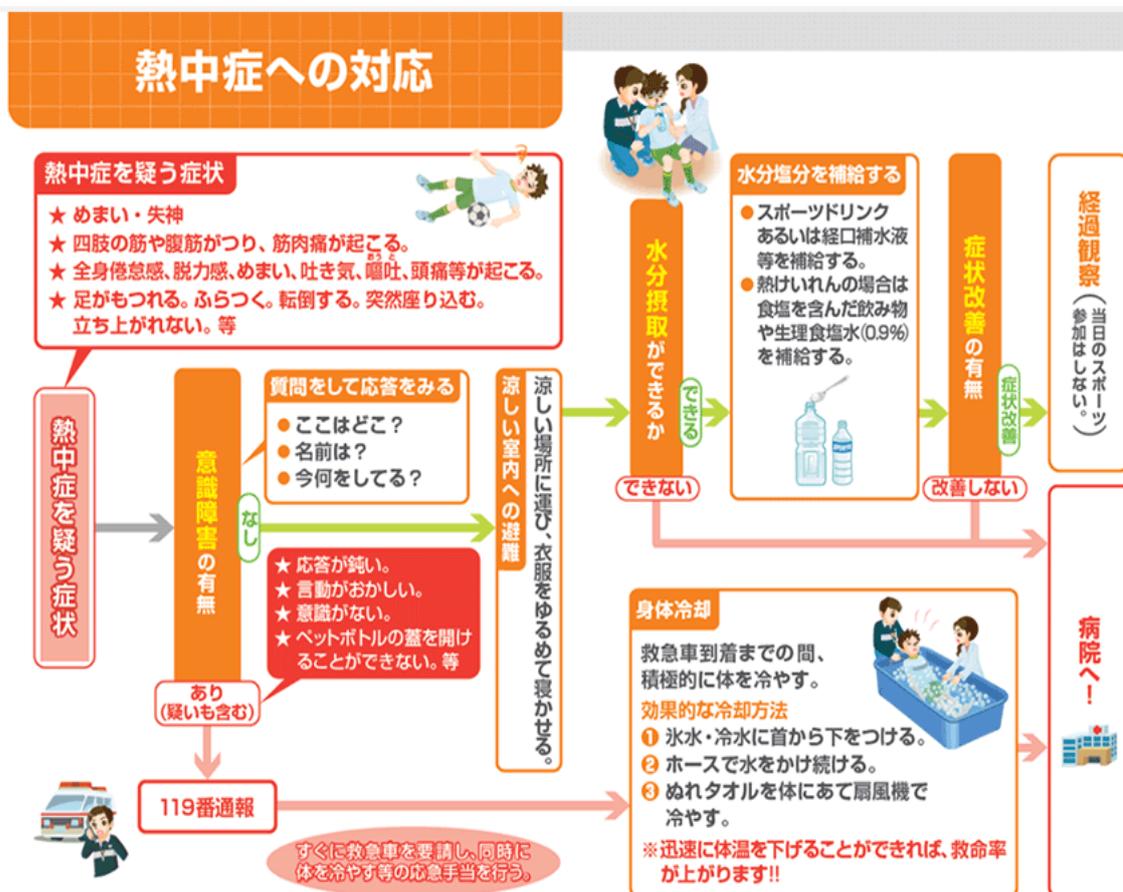
- (1) 毎朝、【熱中症指数】をホワイトボードで確認する。
- (2) みんなの時間・昼休みに【熱中症指数】を放送する。

| | |
|------|---------------------------|
| レベル1 | 【ほぼ安全】(体育・外遊びは可) |
| レベル2 | 【注意】(体育・外遊びは可) |
| レベル3 | 【警戒】(十分な水分補給をした上で体育・外遊び可) |
| レベル4 | 【嚴重警戒】(体育は工夫して・外遊びは中止) |
| レベル5 | 【危険】(体育・外遊びは中止) |

- ・こまめな給水を意識するよう呼びかける。
- ・活動時間や活動内容を工夫する。

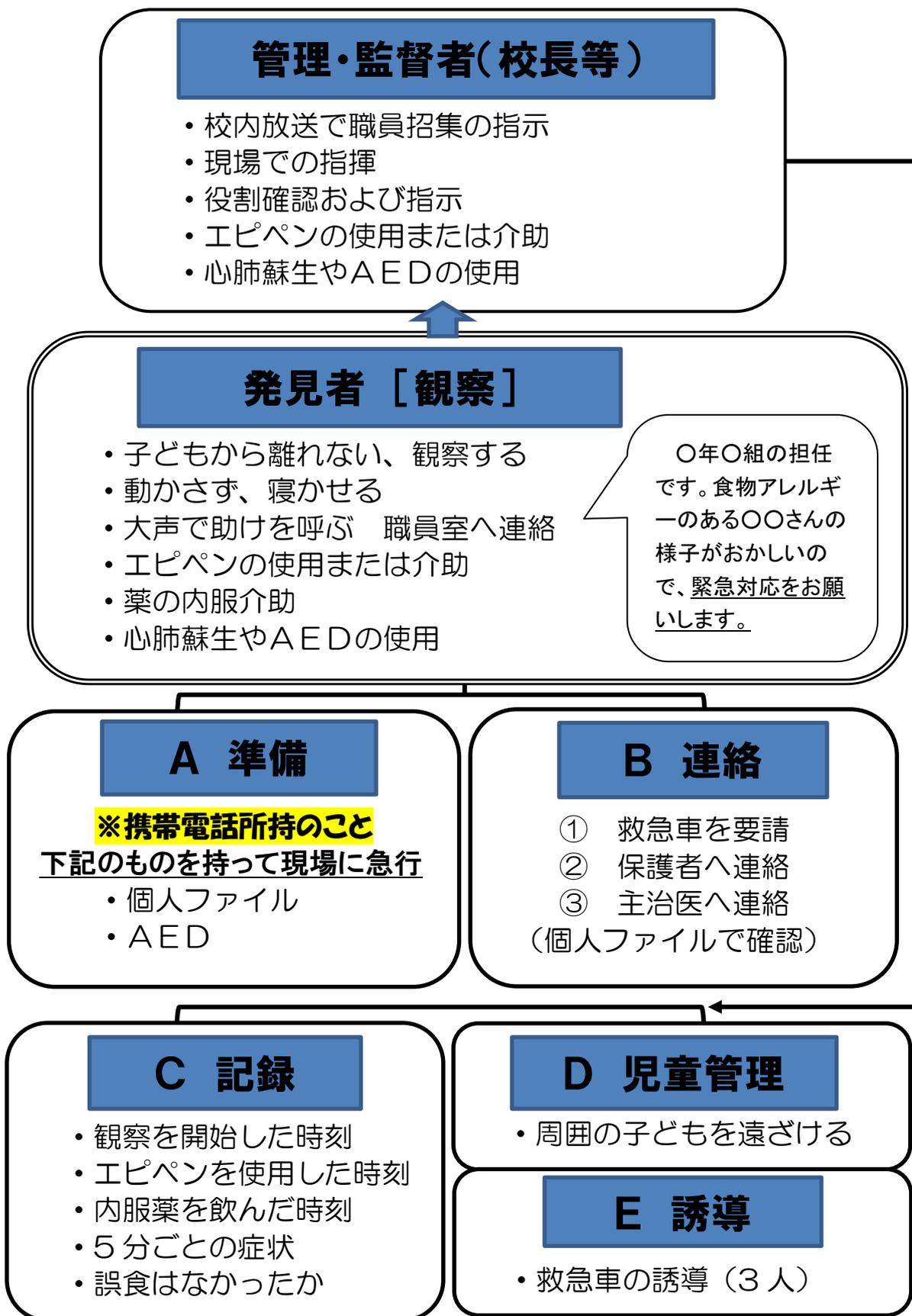
2 熱中症への対応

- (1) 熱中症を疑う症状が出たら、下図の対応を行うとともに、管理職へ報告
- (2) 担任、養護教諭から保護者へ連絡

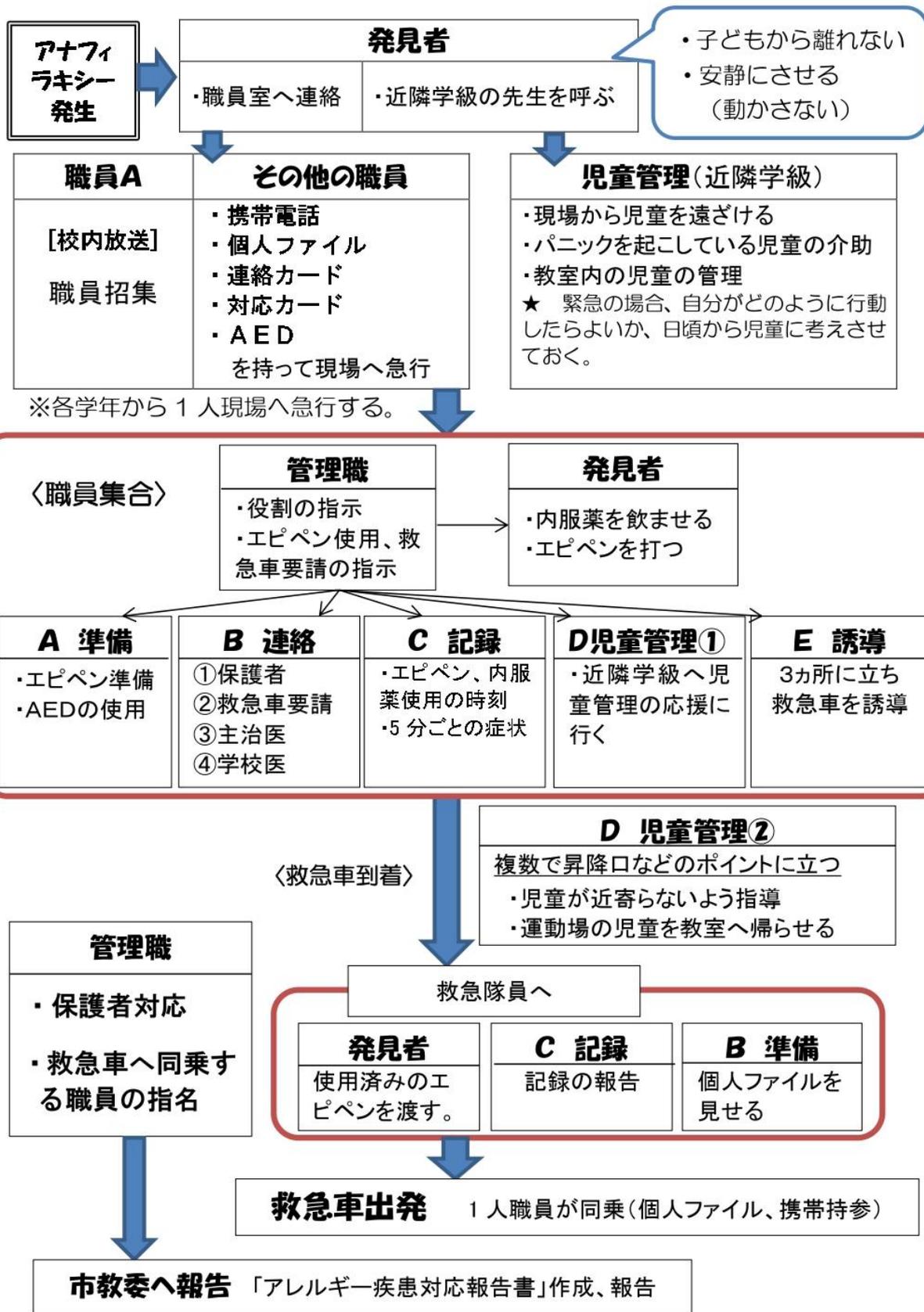


日本スポーツ振興センター作成「スポーツ事故対応ハンドブック」より引用

1.3 アナフィラキシーへの対応



発生時の対応の流れ



C

エピペン[®]の使い方

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け
エピペン[®]を取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを
下に向け、利き手で持つ

“グー”で握る!

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペン[®]の先端
(オレンジ色の部分)を軽くあて、
“カチッ”と音がするまで強く押し
あてそのまま5つ数える

**注射した後すぐに抜かない!
押しつけたまま5つ数える!**

⑤ 確認する



使用前 使用後

エピペン[®]を太ももから離しオレ
ンジ色のニードルカバーが伸び
ているか確認する

伸びていない場合は「④に戻る」

⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、
マッサージする

介助者がいる場合



介助者は、子供の太ももの付け根と膝を
しっかり抑え、動かないように固定する

注射する部位

- 衣類の上から、打つことができる
- 太ももの付け根と膝の中央部で、かつ真ん中 (A) よりやや外側に注射する

仰向けの場合



座位の場合



1.4 弾道ミサイル落下時の行動について

- ① 速やかな避難行動
- ② 正確かつ迅速な情報収集

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性がある。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用した防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージが流されるほか、緊急速報メール等により情報が発信される。

「Jアラート」のメッセージ

(例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

(1) メッセージが流れたら・・・

※落ち着いて、直ちに行動。

屋外にいる場合

できる限り頑丈な建物や地下に避難する。

建物が無い場合

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

屋内にいる場合

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

(2) もしも、近くにミサイルが落下したら・・・

屋外にいる場合

口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

屋内にいる場合

換気扇を止め、窓を閉め、(目張りをして)室内を密閉する。

15 インターネット・情報機器の使用について

(1) iPadの管理について（令和4年11月21日）

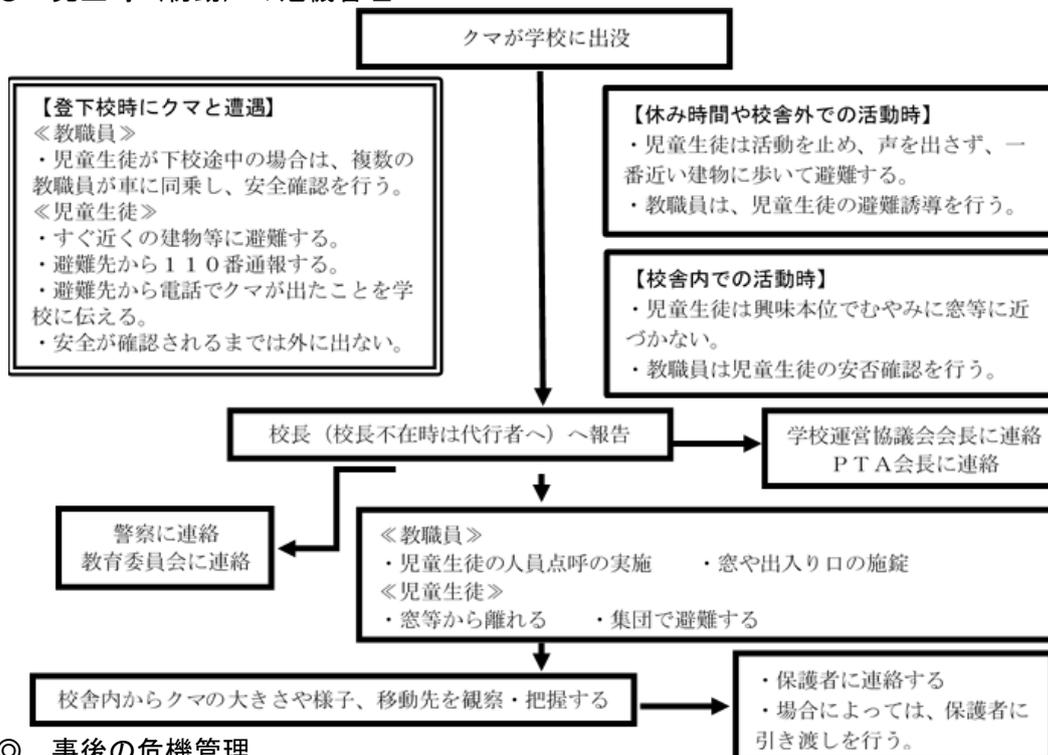
- ① 保管庫は毎朝担任が解錠し、使わないときや放課後は施錠する。（鍵は担任保管で良いが、紛失には十分注意する。（できるだけ、鍵の保管庫で保管）
- ② 使わないときは児童も先生も誤操作防止のためタブレットのカバーを閉じる。（誤操作防止と授業に集中するため）
- ③ 職員用のiPadを机上やロッカー上に放置しない。（カバンの中や引き出しの中、ロッカーの中、児童用保管庫の中などに保管）
- ④ クラスルームの「ストリームへの投稿」を「教師にのみ投稿とコメントを許可」に変更する。
- ⑤ 使い方が悪く、何度注意しても改善が見られない児童は管理責任者へ相談する。

16 野生動物等の害獣対策のための対応フロー

◎ 事前の危機管理

- ・ 野生動物等の対策のための鈴やスプレーなどを準備しておく。
- ・ 市の担当課と連携し、学校周辺に野生動物の出没が予想される場合は、教職員や児童生徒に対して対処方法についての指導を行う。

◎ 発生時（初動）の危機管理



◎ 事後の危機管理

- ・ 出没したクマの行方を関係機関からの情報を元に確認する。
 - ・ 当面の間、集団での登下校とし、必要に応じて、教職員も同伴する。
 - ・ 今回の事案の評価と復旧対策を行う。
- インシデントに関する詳細な報告書を作成し、教育委員会や関係機関に提出する。
- インシデントの原因や対応の評価を行い、今後の改善策や予防策を検討する。
- ・ クマ対策のマニュアルや手順を見直し、より効果的な対策のために改善を行う。
 - ・ 心理的な影響を受けた児童生徒や教職員へのサポートを提供し、必要なカウンセリングや心理支援を行う。